

月報 白樺

ALPINE CLUB / WHITEBIRCH NAGANO

7月の活動予定

7月3日(火) 第一例会

7月17日(火) 第二例会 終了後リーダー会

7月8日(日) 長山協 夏山登山教室

虫倉山

7月14日(土)～15日(日) 権現岳～赤岳

7月21日(土)～22日(日) 白山(石川県岐阜県)

8月の活動予定

8月7日(火) 第一例会

8月21日(火) 第二例会

8月3日(金)～6日(月) 梅海新道

8月3日(金)～5日(日) 白馬岳～朝日岳

8月10日(金)～12日(日) 夏合宿 源治郎尾根

8月18日(土)～20日(月) 南岳小屋～槍ヶ岳

4・5・6月の活動報告

6月5日(火) 第一例会

6月19日(火) 第二例会 終了後リーダー会

4月16日(月) 根子岳

木曾駒ヶ岳中止の代わりに急遽根子岳に行きました。駐車場には車0台でした。木々は最初新緑で途中からは霧氷となり



でもきれいでした。山頂は冬の寒く厳しい感じではなくあたたかくやわらかでした。花の百名山ですがあまり咲いていませんでしたかね。

昼には下山。台湾前のトレーニングが出来まして良かったです。



長野 7:00＝登山口 8:00－山頂 11:00－登山口 12:00＝長野 13:00

5月26日(土) 瑞牆山山行

天気:晴れ

立山山行が諸々あり実行が難しい状況となったため、瑞牆山山行となりました。3月の金峰山山行のときに瑞牆山を見て行ってみたいと思っていたので、早々に実現し期待を込めての山行となりました。みずがき山自然公園に駐車。広く整備された駐車場で隣の芝生公園で家族連れも遊んだりキャンプできるくらい立派です。山行ルートは不動滝を通過する黒森コースで山頂を目指し、富士見平小屋経由で自然公園に戻る周回コースです。公園駐車場から舗装の林道を20分ほど歩き、そこから分岐した未舗装の林道を10分程歩くとようやく登山口です。登山口にも10台ほどの駐車スペース有り。途中クライミングができる岩壁とツツジ、シャクナゲの花を眺めながら気持ちよく歩いていくと、左手に不動滝が見えてきます。白い岩肌を滑るように水が流れ、とても

優美な感じですよ。ここが黒森コースの中間点で、ここから傾斜が増していきます。合流地点から山頂までは、すぐです。白い岩の山頂は大賑わい。展望もよく、富士山、南ア



ルプス、八ヶ岳、金峰山が見渡せます。眼下には巨石がニョキニョキそそり立ち、ほかの山頂とは違った景色でした。下山時には大ヤスリ岩でクライミングしている人が見えました。シャクナゲの花もかなり咲いており登山道も華やかです。富士見小屋で休憩。北村さんによると、小屋は以前よりかなりきれいにリフォームされたとのこと。ここからは林道に入り公園まで戻りました。ツツジ、シャクナゲの開花時期と上手く重なり、期待以上の山行となりました。

長野発 5:00 みずがき自然公園着 7:15 自然公園発 7:45 登山口 8:25 不動滝 9:20/9:30 山頂 10:55/12:00 桃太郎岩 13:05/13:15 富士見小屋 13:40/14:00 みずがき山自然公園着 15:05 長野着 19:30

6月10日(日) 中西山

天気:曇り

濃い霧が木々の上を覆ってはっきりしない天気でしたが、可憐なお花に出会うことが出来ました。この日の中西山は白いお花のオンパレード。ツバメオモト、マイズルソウ、ユキザサ、ツマトリソウ、ゴゼンタチバナ、ヤマボウシ、タムシバ(コブシ?)、ギンリョウソウ・・

特にツバメオモトが登山道の両側、そして奥の方までビッシリと咲いていました。まだかわいいつぼみから「見てちょうだい…」と言わんばかりに花開いた姿まで一番見頃の時でした。これほど多くのツバメオモトを見ることが出来たのは初めてです。

ちょうどいい時期ではないかと思っていたシラネアオイは淡い色で迎えてくれましたが、落ちたばかりのような花びらが葉の上に何枚もあって、一週間ほど前が良かったのではないのでしょうか。

水芭蕉の季節が過ぎ、観光センター駐車場には車が少なく静かでした。自然園に続く道路から登山道に入り、堂津岳との分岐までは急勾配もありの上り。分岐からはネマガリダケの間を歩いたり、片側



が切り落ちたところもある尾根歩き。20分ほどで中西山。標柱が中西山と書かれた面を下にして倒れていたの、気づかなければ通り過ぎそう。東山方面に向かいましたが、雨になるかもしれない心配と、霧で視界が悪く周りが見えないこともありUターンして帰路に。清楚に咲くお花に癒され楽しめた一日でした。



長野(合庁P)発 6:10 鬼無里観光センターP 登山口 堂津岳との分岐 9:00 中西山 9:20 Uターン地 10:22 中西山 11:00 分岐 12:00 登山口 12:40 鬼無里観光センターP 13:30 長野 15:20

6月2日(土) 長山協 物見岩清掃

天気:晴れ

長山協主催の物見岩清掃。8:30 下の駐車場に集合し、宮下さんの車で霊山寺駐車場へ。参加山岳会は、中条山岳会・モレーヌ・長野山岳会・ブーリー等から総勢10名程。9:00 清掃開始。ゴミはほとんどなく。登山道の整備、練習ゲレンデの草取りなどの清掃。清掃中に会長が白骨を発見。も加わり丁寧に供養してもらいました。(白骨は当初カモシカと思われましたが、イノシシの雌と判明。)10:00 終了。清掃後、10:30 練習開始。練習中によりバタフライノットの講習を聴く。ダブルフィッシャーマンより簡単に結べて、海外ではこちらが主流とか、勉強になります。12:00 撤退。清掃と練習ご苦労様でした。

6月16日(土)~17日(日) 南八ヶ岳~北八ヶ岳 参加者:

大好きなツクモグサとウルップソウに会いたくて雨でも八ヶ岳に行きたかった。富士見高原からスタートです。権現岳まで静かな南八ヶ岳。赤岳、視界ゼロ。横岳に近づくにつれお花の種類が増え、来てよかった~幸せ! 中山峠からわずかに西に黒百合平、ここでテント泊。テント泊料金は1000円。お水タダ。おトイレ広くて綺麗で新しい♪軽くて便利なツェルトは、幸い雨は免れた。朝結露して





内側も外側も凍りついていたけれど、見た目ほど悪くなかった。

日曜日は暑くなった。北横岳山頂では、地図と方位磁石で山座同定。素晴らしい景色に見惚れ、立ち止まって写真撮ってとなかなか進まない。最後の蓼科山山頂では、遠く南八ヶ岳を眺め、「あそこから歩いてきたのね～」と感動した。

最終のバスの時間に余裕を残し親湯でゴール。

両日とも行動時間は11時間前後かかったけれど景色やお花を楽しめての山行が出来ました。今回の山行を計画してくださった 八ヶ岳大満足です！ありがとうございました～

親湯 17時15分が最終

バス 920円

茅野駅→小淵沢駅 410円

タクシーで富士見高原 3250円(小淵沢タクシー)

ホテル八峯苑 鹿の湯

600円

長野 2:00 富士見高原登山口スタート 4:20～編笠山～権現岳～赤岳 10:30～横岳～硫黄岳～箕冠山～根石岳～東天狗～中山峠～ヒュッテ黒百合 15:50
黒百合平 5:20～中山峠～高見石～白駒池～麦草峠～茶臼山～縞枯山～北横岳 10:20～天祥寺原～蓼科 13:40～蓼科山登山口～信玄棒道～親湯でゴール 16:20
移動距離 40キロ超

九州山行 6月1日～7日

参加者

高千穂峰、行藤山、祖母山、阿蘇、久住山、中岳、大船山由布岳、大船山、平治岳、由布岳

6月1日(金) 高千穂峰

天気：快晴

参加者：

天孫降臨 伝説の山、高千穂峰は美しい山容を持つ。霧島連山では2番目の高さ。高千穂河原の大鳥居をくぐり右側の登山道に入る。灌木帯の中、石畳を登っていくと「コガクウツギ」の白い花が咲き甘い良い香りがした。樹林帯を抜けると急坂となり、小石と露岩の登山道を慎重に歩く。やがて待望のミヤマキリシマが現れ始めその可憐な姿に歓声をあげ足が進まない。御鉢までの斜面は最盛期は過ぎたもののピンクに染まっていた。爆裂火口の御鉢を半周して鞍部に下り一休みする。かつて霧島神宮があった場所とされ鳥居と祠があった。ここから見上げる高千穂峰までの斜面はミヤマキリシマが咲き誇り、見とれるばかりで、また足が進まない。山頂からの展望はすばらしく、南に桜島、すぐ隣には噴煙を上げる新燃岳、その奥



御鉢



山頂



鞍部から高千穂峰



新燃岳と韓国岳

に韓国岳と見飽きる事がない。天孫降臨の際、地面に突き刺したと伝わる天の逆鉾をカメラに納め、来た道に戻る。1234年まで290年間霧島神宮が存在した古宮址に立ち寄り九州一座目の登山を終えた。

高千穂河原 11:10 — 御鉢 12:40 — 高千穂峰 13:10/13:55 — 御鉢 14:25 — 高千穂河原 15:10

6月2日(土) 行藤山

天気：晴

参加者：

難しい漢字名の山でした。硫黄山の噴火で入山禁止となっている韓国岳に替わり登る事になった「むかばきやま」。武士が狩や乗馬の際、防護用として着用したものを行藤と言い、その形が似ていることから付けられた山名という。登山口は行藤神社の入口にあり、大きな杉、常緑広葉樹の森を緩やかに登る。狭くなった登山道も良く整備され歩きやすい。行藤川に掛かる橋の上からは幅広く流れ落ちる行藤滝が見える。しばらく進み滝を見るために左に入る。日本の滝百選に選ばれるのも納得の立派さ。滝には、ファミリーで訪れた人達か、お爺ちゃんに寄り添っておにぎりをほおぼる女の子の姿があり、市民に愛されている山を実感した。話をする中で、長野から来たと言うと皆さん驚いた様子だった。ひと登りして峠に到着。流れを渡り湿った谷を登る。途中、休憩していた老紳士と話がはずみ、そこから引き返すと言う彼から「かみさんの土産とあったけれど、皆さんで“だんご”食べて！」と柏餅を頂き、山頂で味わった“だんご”は美味だった。頂上は広くはなかったが、地元の人々を愛する人々で賑わっていた。整備され歩きやすく、緑豊かな行藤山は往復4時間弱の楽しい里山だった。



行藤神社



行藤の滝

行藤山登山口 10:43/11:00 — 滝 11:50 — 峠 12:40 — 山頂 13:18/13:45 — 峠 14:15 — 行藤山登山口 15:10

6月3日(日) 祖母山

CL

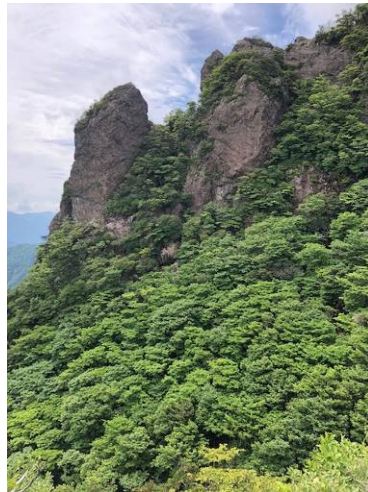
天気：晴れ

祖母山は、神武天皇の祖母・豊玉姫が祀られたことからこの名があると言う。

今回は祖母山の1番ハードな黒金山尾根を登り、宮原を下るコースにした。願いが叶い今日も晴れ。

ホテル5:00 発。途中、祖母山が見えたので停車。田園風景の日の出があまりに美しく暫く眺めた。カーナビが登山口の尾平鉱山は出ないが尾平登山口駐車場で設定出来たので安心して車を走らせる。これが大間違い。着いたのは同じ名前の駐車場で、古祖母山登山口だった。来た道に戻り、50分もロスした。気を取り直し7:00 出発。

歩き始めると目の前に祖母山が聳えている。あれが天狗岩で山頂はあそこか？川上溪谷の遊歩道に入り、最初の吊橋は渡らず直進。次の吊橋を渡り、渡渉し、黒金山尾根取付に出た7:35。ここから急登が続く。標高700mから山頂1756mまでひたすら登るのみ。常に急こう配。あまり人に会わなかったが、2人連れと抜きつ抜かれつ、天狗の水場、天狗の岩屋着9:30。ようやく稜線に出た。古祖母山と祖母山の分岐9:50 着。ここで2人連れとまた会い、天狗岩に登ってから祖母山に行くと言う。10分で行かれるそうで、願ってもないチャンスと付いて行く。この辺りからミヤマキリシマが丁度見頃。とてもきれいに咲いている。写真を撮りながら行く。天狗岩10:00 着。物見の朝練のお蔭で、3人共難なく登る事が出来た。天狗の岩からは360度の絶景だった。祖母山が立派だ。明日登る阿蘇山も見える。1人は山の達人らしく、



(天狗岩)



(祖母山)

傾山から古祖母山、障子岳、祖母山の縦走ルートを目で追いながら詳しく教えてくれた。

分岐まで戻り、ゆっくり行くと言う2人と別れて歩き出す。ここからは、梯子やロープの連続だ。チラッと垂直に長い梯子が見える。登るのが怖いような楽しみのような気持ちで次々岩場を越えると突然山頂に出てしまった。あれっ？垂直の梯子はどこ？山頂着11:55。いろいろなルートからの人が大勢いた。しばらくして2人も来た。やはり垂直の長い梯子は登らなかつたそうだ。後日調べたらあの梯

子は冬期ルート用だった。

百名山96座目。祖母山。来ることが出来て良かった。宮原への下山は国見峠へのルートをも30m進み分岐を右へと、さきほどの人が教えてくれた。祖母山九合目小屋に寄り、宮原コースを下り、渡渉し、吊橋渡り、朝、黒金山尾根に進んだ分岐に15:00 着。登山口駐車場15:20。今日の宿泊、阿蘇プラザホテルに直行する。ホテル着17:10。温泉入って



(祖母山山頂)

ビールで乾杯して食事して、山の用意をして眠る を今日も繰り返す。幸せな山三昧の毎日に感謝。

6/3 ホテル岩城屋 5:00=尾平登山口 P6:50/7:00 (黒金山尾根コース)-分岐(黒金山尾根と宮原コース) 7:18-尾根取付 7:35-天狗の岩屋 9:30-分岐(古祖母山と祖母山) 9:50-展望台 9:55-天狗岩 10:00-分岐 10:45-祖母山山頂 11:55/12:30(宮原コース)-祖母九合目小屋 12:50-宮原分岐 13:40-分岐(黒金山尾根と宮原コース) 15:03-尾平登山口 P15:20=阿蘇プラザホテル 17:10(泊)

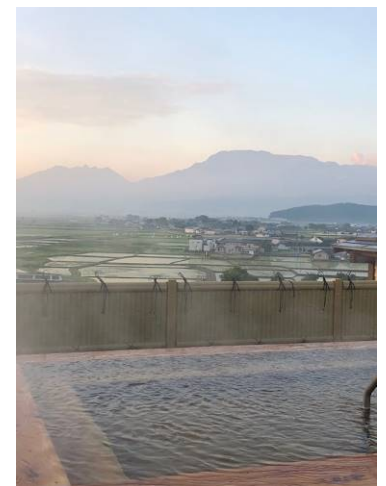
6月4日(月) 阿蘇山(中岳・高岳)

CL

天気：晴れ

阿蘇山は大きな自然災害が続いている。2015年9月に噴火。2016年4月に震度7の熊本地震。震度6強が2回、震度6弱が3回も発生した。さらに2016年10月、36年ぶりに爆発的噴火をして、阿蘇市が灰に覆われた。仙酔峡は現在全面通行止めだ。阿蘇山の最高峰、高岳と今も噴煙を上げる中岳の登山を諦め、阿蘇山五岳の杵島岳と烏帽子岳に登る計画を立てていた所、今年の4月下旬から、砂千里から中岳、高岳の登山が規制解除となった。風向きで火山ガスの流れる方向では、登山禁止になるそうだが、それはその日になって分かるとの事だ。

阿蘇プラザホテルからは阿蘇山が見渡せる。朝5時、7階にある檜の露天風呂に入り、周囲130kmの世界一のカルデラの外輪山と中央火口丘の阿蘇五岳を眺め、雄大な美しさに見とれてしまう。このカルデラの中におよそ五万人の人々が火山と共に生活しているという。災害に合ったことが信じられな



(檜の露天風呂からの阿蘇山)

い美しさだが、噴煙が多く、今日登る事が出来るか不安になる。

阿蘇パノラマラインで、阿蘇山ロープウェイ西駅 8:50 着。ゲートで少し待つと、今日は登山可で、阿蘇山公園道路のゲートが開かれた。ホッとする。登山者用の駐車場まで有料道路を走る。砂千里駐車場着 8:55。ロープウェイは運行していない。火口へは帰りに寄る事にして、木道を歩き始める。大勢の人が歩いている。

火山ガス注意報の看板が目につく。木道が終わり中岳南峰へ溶岩が流れ出した跡のような谷からの急登が始まる。南峰 9:50 着。ここから中岳へはパノラマ



(阿蘇山 中岳山頂)

コース。下に火口が 2 つ並んで見える。朝より噴煙が少なく感じる。中岳 10:24 着。山頂から見渡すと、中岳西側全体が 1 つの大きな火口であることがよく分かった。次の最高峰高岳を目指す。左に標識が見えてあともう少しという時「横澤さん右見て！」の声。見ると一面のミヤマキリシマ！「すごい！すごい！きれい！」嬉しくて三人共大声で言ってい



(阿蘇山 高岳山頂)

たらしい。後で傍にいた人達から「あの位喜びを表さなくてはと皆で話していた」と言われて恥ずかしかった。高岳着 10:45。

ここからはミヤマキリシマの大群生。どれだけ写真を撮ったことか。天狗の舞台 11:40 着。座って下を眺めれば一面ピンク。美しさに胸の高まりがおさまらない。月見小屋を目指し歩き始めるが、ミヤマキリシマの中を歩き、見とれて写真。振り返ってはうっとりしてまた写真。山全体のピンクと緑のコラボも素敵とまた写真。切りがない。月見小屋 12:15 着。ミヤマキリシマを十二分に楽しんだ。



(阿蘇山のミヤマキリシマ)

砂千里駐車場 13:30 着。

百名山 97 座目。阿蘇山、登らせてくれて有難うございました。

帰り、車をロープウェイ山頂駅に移動し火口を見学。山頂駅が噴火で完全に崩壊し、ガレキになっている姿に衝撃を受けた。阿蘇山で出会った人から、地震で崩壊した阿蘇神社に寄って行くといいよと教えて頂き、阿蘇神社へ。ここでも自然災害の恐ろしさに震えた。



(阿蘇山 火口)

明日は九重山。牧の戸口を下見して、今日の宿、九重観光ホテルに車を走らせる。ホテル着 17:30。

6 / 4 阿蘇プラザホテル 8:00 (阿蘇パノラマライン) = 阿蘇山ロープウェイ阿蘇山西駅 8:50 (阿蘇山公園道路) = 砂千里 P 8:55 (砂千里ヶ浜コース) - 中岳 10:25 - 高岳 10:45 - 天狗の舞台 11:40 - 月見小屋 12:15 - 分岐 - 中岳 12:30 - 砂千里 P 13:30 = 火口西 P 13:35 - 火口見学 - 火口西 P 14:10 = 阿蘇山神社 = 九重牧ノ戸口下見 = 九重観光ホテル着 17:30 (泊)

6月5日(火) 久住山・中岳

たくさんの方にどのコースが良いとか、開花状況の情報を頂いたので、長者原へは翌日の下山コースをとり、牧ノ戸峠からの入山に変更しました。前夜のホテルでどちらへも送迎して頂けるとのことで、縦走並みのコース設定ができ助かりました。牧ノ戸からは年配の方も少しの岩場を通過すれば歩きやすく、ミヤマキリシマ狙いならばこのコースがおすすめです。途中から小雨になり、予報通りの悪天へと変わっていききました。扇ヶ鼻の斜面はガスの中でもピンク色が際立ち、さらに登り平らな所に出ると、ミヤマキリシマ以外に何も無いくらいの一面美しいピンク色でした。端から端まで見えませんが、かなりの広さがあるようです。



扇ヶ鼻のミヤマキリシマ

おおすすめの星生山にも登りました。尾根筋は岩場があり雨で滑るので慎重に歩きました。標や踏み跡を確認しながら進んだのですが、歩くと合流また合流で、地図に載ってない道がたくさんありました。星生山も岩とミヤマキリシマが混在してとても綺麗でした。昨日、阿蘇山で「今すぐ引き返して久住へ行くべきだよ」と言った地元の方がいましたが、確かに晴れなら素晴らしい景色だったでしょう。

久住へ向かう途中で迷子のおじいさんに会った。仲間と久住山を目指して法華院を出たが、下山口も知らず、どうしようと地図を広げて話しているうちにガスの中からお仲間が現れ一安心。この時、私はこの視界の悪いガスの中迷ったらどうしよう、と嫌な予感がしたが、的中。

多くの人が来ている割には分岐や標が少なく、二度道に迷った。横殴りの雨と強風が顔を打ち、数メートル先しか見えなかった。避難小屋から予定していたルートは分岐が複雑でさらに道に迷う危険があったので、法華院に電話をして違うルートを下ることにする。ぬかるみの中を急いで法華院を目指した。小屋に到着した時は16時だったがホッとした。簡単な脱水機があったので小物を脱水にかけたら早めに乾いて助かった。

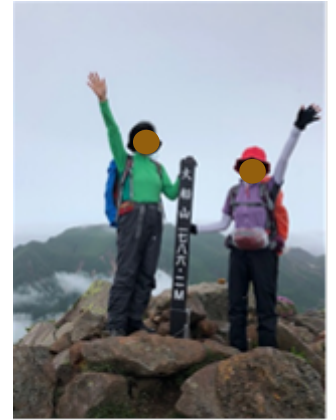


久住山 山頂

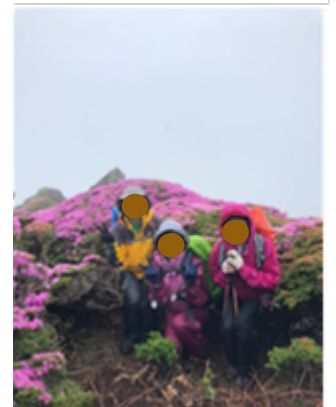
牧の戸 8 : 30—扇ヶ鼻分岐 10 : 06—星生山 11 : 23—久住分 12 : 10—久住山 12 : 52—避難小屋 14 : 26—久住分 15 : 00—法華院 16 : 00

6月6日(水) 大船山～北大船～平治岳

今日も小雨模様だが、昨日の横殴りの雨より視界が良い。平治岳・大船山の頂が見えている。平治岳の山頂はスタート地点からでもピンク一色だ。樹林帯の中を大船へ向かう。途中からミヤマキリシマも増え、尾根からは右も左も後方の平治岳もピンク色で染まっていた。大船山頂から坊ガツルが見え、昨日歩いていた山々がガスの中から見え隠れした。小雨に追われるように大船山から北大船へ向かう。こちらもミヤマキリシマが群生していて綺麗だった。平治岳のミヤマキリシマはほぼ咲き終わりで薄茶色になっていたが、咲いている面積が一番広がった。



大船山 山頂



平治岳

法華院 7 : 15—大船山 9 : 20—北大船 9 : 54—分岐 10 : 43—平治岳 11 : 32—坊ガツル 13 : 11—長者原 15 : 37

6月7日(木)由布岳

天気:晴

参加者:

正面登山口から見る由布岳は、左手に草原の小山飯盛ヶ城を控え端正で美しい。当初は西登山口から入山の予定だったが、駐車場の関係で正面登山口から登る。15分程草原歩きをして樹林帯に入り合野越へ。灌木帯は涼しくジグザグと高度を上げる。低木

から草原状となるころからミヤマキリシマが現れ、岩のゴロゴロした急坂を登り切ると西峰と東峰の鞍部マタエに到着。岩

と緑とミヤマキリシマのピンクが映えてすばらしい景色が待っていた。一週間の九州山旅の中で一番の色合いの様に思えた。西峰へは鎖をたよりに慎重に登る。さながら物見練習の実践の様であった。鞍部に戻り東峰へ足を伸ばした。今回、火口壁を一周する事が出来ず残念ではあったが、遠く祖母山、九重の山々を眺め、最高のミヤマキリシマに出会えた由布岳は心に残る山となった。



由布岳



西峰

正面登山口 8:20/8:35 — 合野越 9:18 — マタエ 10:40 — 西峰 11:10 — マタエ 11:32 — 東峰 11:47 — マタエ 12:08 — 合野越 13:00 — 正面登山口 13:30



遠く祖母山



山ガール